



Re:姉妹冒険者が挑む
エロトラップ
ダンジョン



「生活費がさあ……ないんだよ……」

彼女らは貧乏だった

「なやみ〜?」

以前入った洞窟で改造されまくった体を元に戻す際に莫大な借金をしたので金が必要になった

マイン(妹)

エナ(姉)

この姉妹が未踏のダンジョンに入る理由





2人が珍しそうな剣を
発見して喜ぶ
「あ〜っ!」

マイ
（ふふっ、これで
借金はチャラ…
お釣りがきたら
何に使おう…♡）



魔術協会
考案

死に戻り魔法

へ〜

トクベツな羊皮紙に
血で名前をかくと
頭上に「しるし」が

うんめん?
かこめん!



「エナ
へ〜」

「冒険者は死んでも
登録してある場所から
再スタートできるから
危険な罫も気にせず
宝を探せるんだよ」

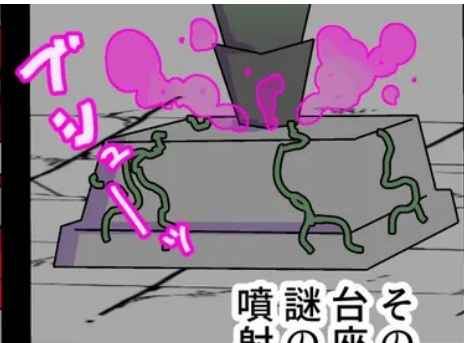


二人の体に変化が...

台座から出てきたのは
ふたなり化のガスだった！
姉妹はふたなり化してしまった！



ふたなり化してしまった！



姉妹が台座に
近寄り
剣に触れた



その瞬間
台座から
謎のガスが
噴射され



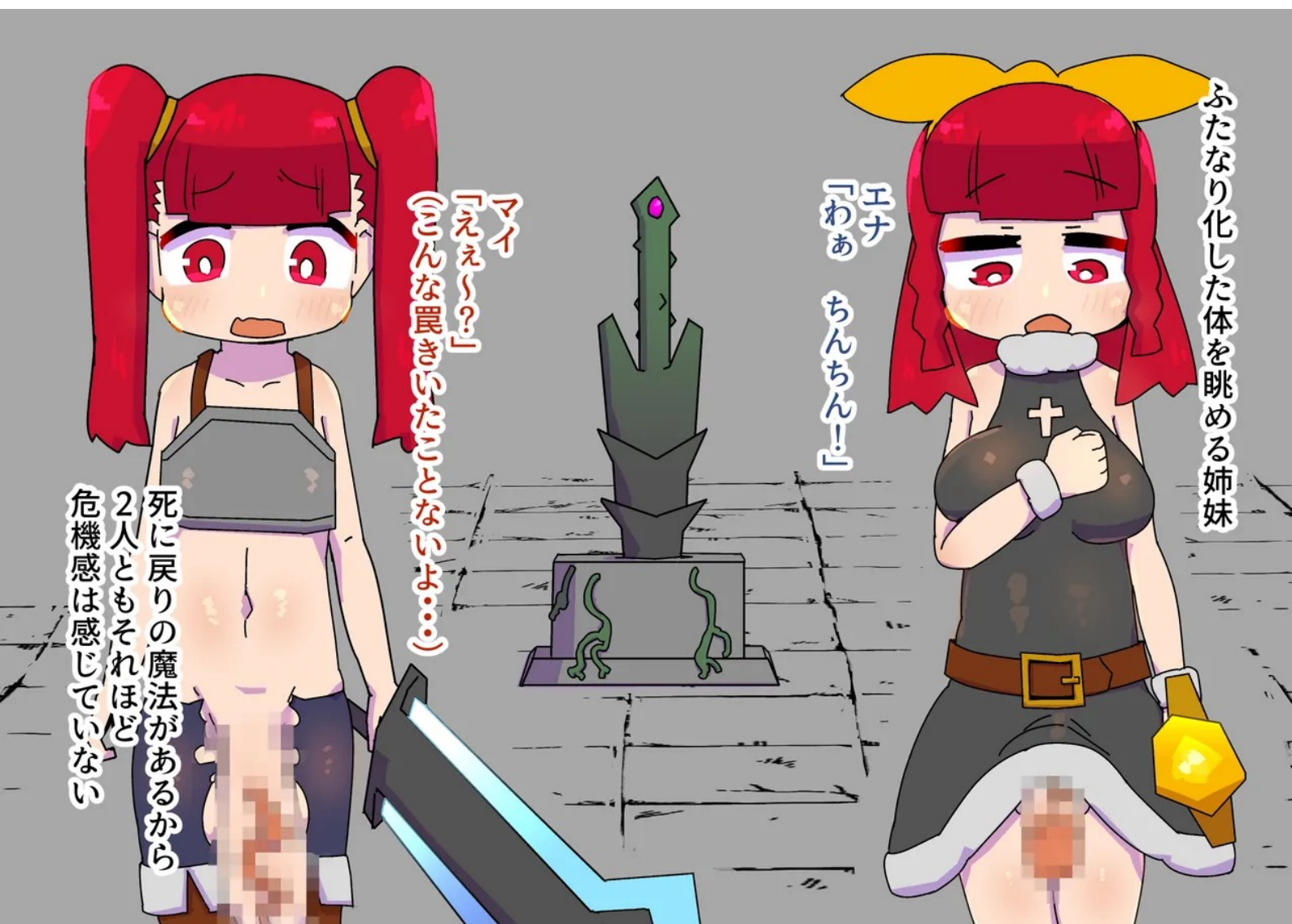
姉妹はガスを
全身に浴びて
しまった！

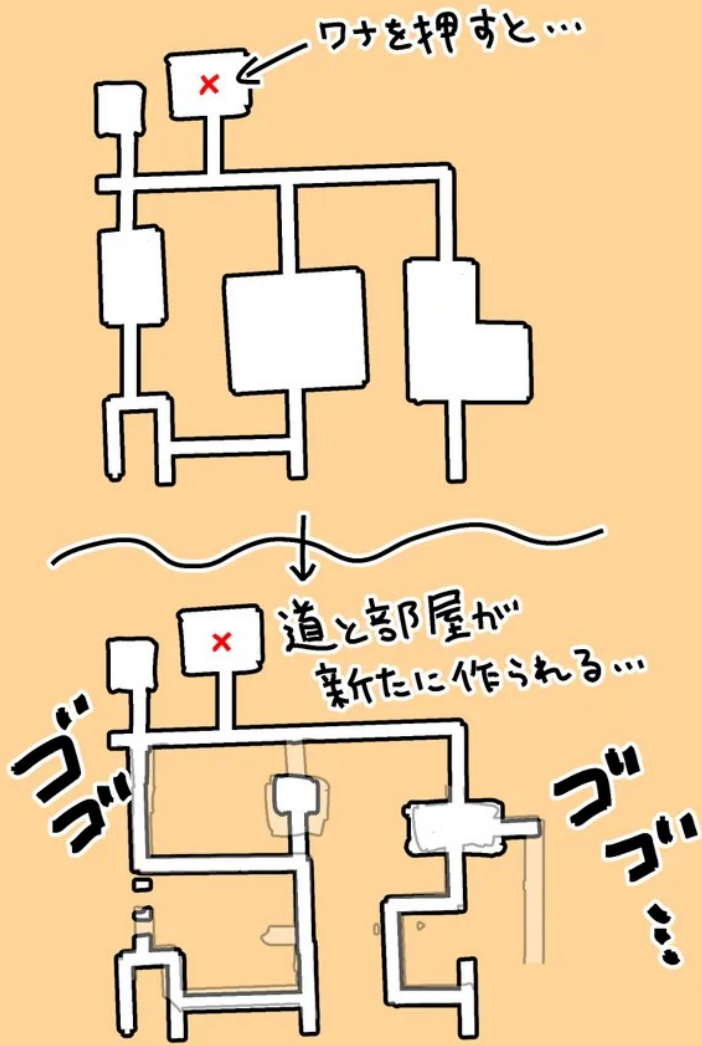
ふたなり化した体を眺める姉妹

エナ
「わあ ちんちん！」

マイ
「ええ〜？」
（こんな畏きいたことないよ…）

死に戻りの魔法があるから
2人ともそれほど
危機感を感じていない





エナ
「わたくし
提案があります
マイ隊長！」



マイ
「はいは
聞きますよ」



エナ
「適当にきた方向かなって道を
戻ったらいいと思いまゝす」





エナ
「マイちゃんのやつ
町の男のより
でっかいよ」



マイ
「うれしくないよー!」



ホッキン...
うんこ...

マイ
「マイ... (これ元に戻すのに
またお金使うなあ...)」

エナ
「わあ
指でつつくと
ピクピクって
するね!」

うず
うず
うず

あたりに
何かの卵が
大量にある

未踏のダンジョンには
何が
いるか
分からない

それゆえに
最初に調査に入る
冒険者への
報酬が高い



エナ
「変なおいするね」

マイ
「……うん 早く抜けよう」



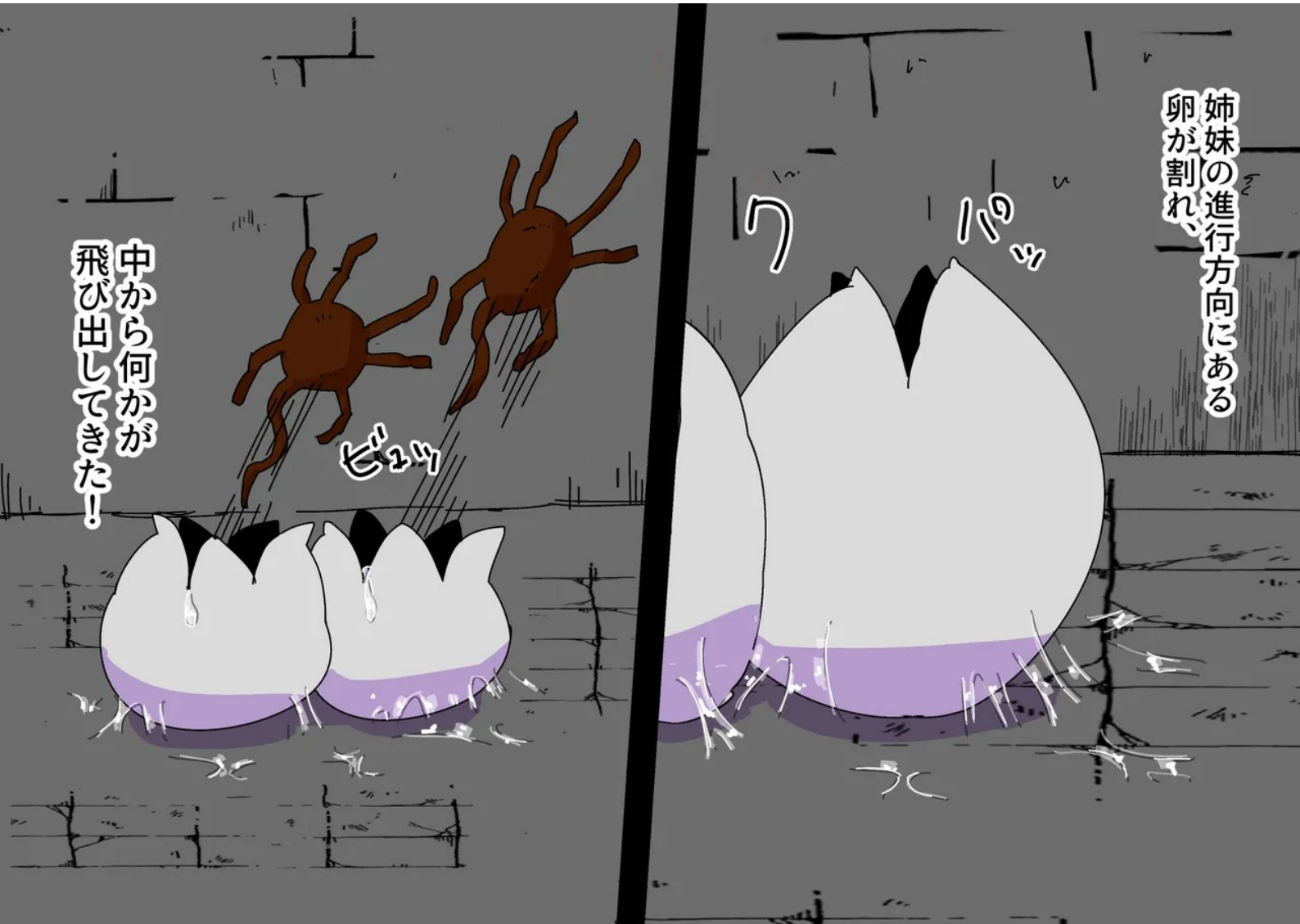
姉妹の進行方向にある
卵が割れ、

中から何かが
飛び出してきた！

ビュッ

ワ

ハッ



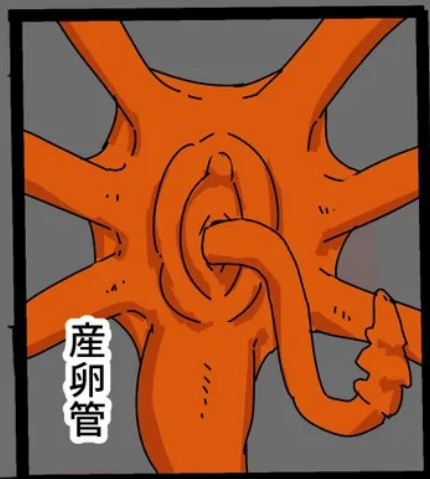


エナ
「うひゃあ!!きもー」

マイ
「~~~~?!!?」

飛び出してきた
それらは
むき出しのチンポに貼りついた!

がッ



産卵管

「マイ
あきー」

エナ
「ほげえつー!」

振り払う間もなく
尿道から産卵管が
挿入される!







ギィ!!

あゝ!!

グリュル!!

先ほどの卵が
孵化したのだ

エナは
尿道出産の
快楽に耐え切れず
死亡した...

あゝ

すゝ

姉妹は
その場から
何とかして
離れたが、
+ 辜丸に激痛が走る

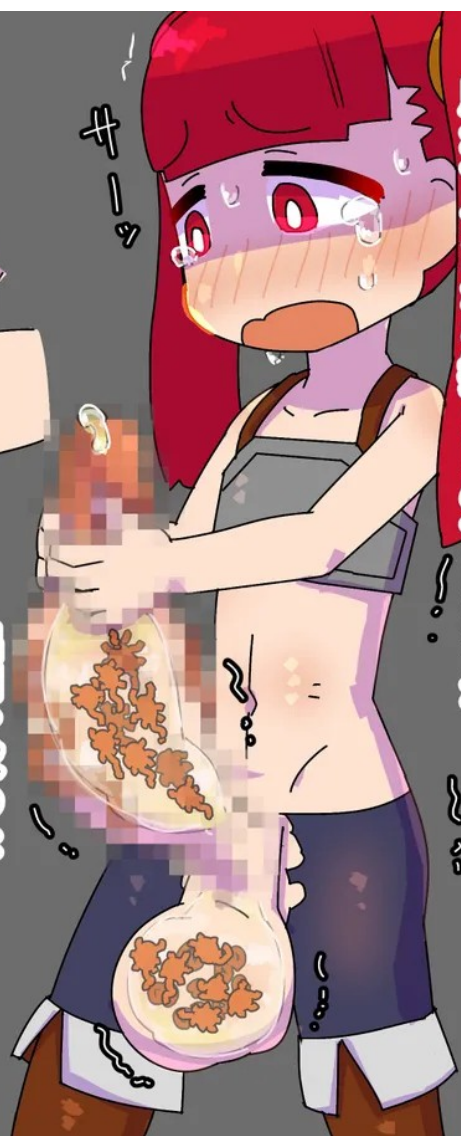
グリュル!!

グリュル!!

グリュル!!

グリュル!!

姉の姿を見て、あまりの恐怖に
思わずチンポを握りしめてしまうが……



出口を求めた
虫の幼体達が
チンポを食い破って
外に出てくる!!

破裂音と共に
脳に叩き込まれる激痛で
妹はショック死した。



オロオロ……



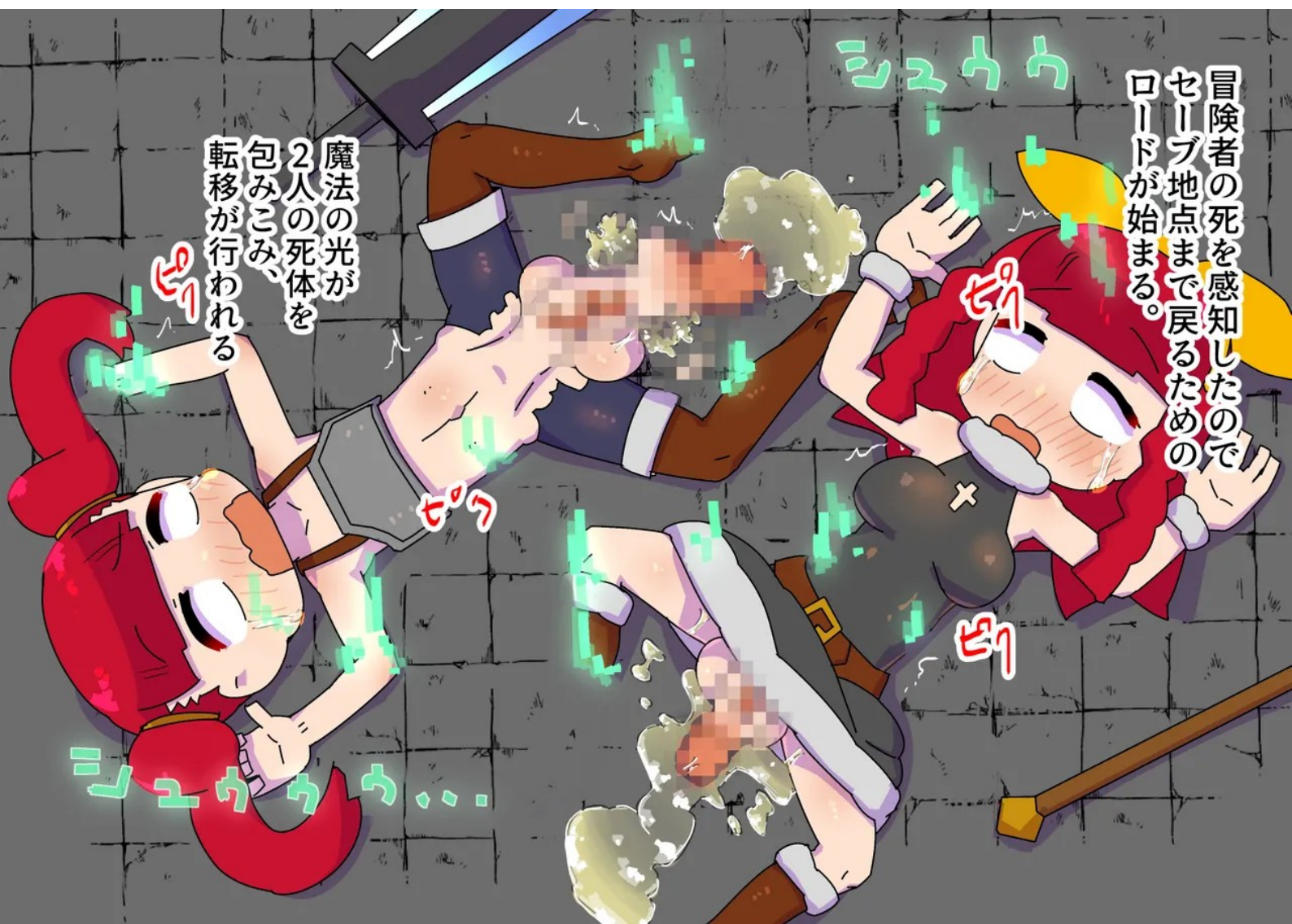
2人は死んでしまった!

ト'ガッ'

ト'ガッ'...

冒険者の死を感知したので
セーブ地点まで戻るための
ロードが始まる。

魔法の光が
2人の死体を
包みこみ、
転移が行われる



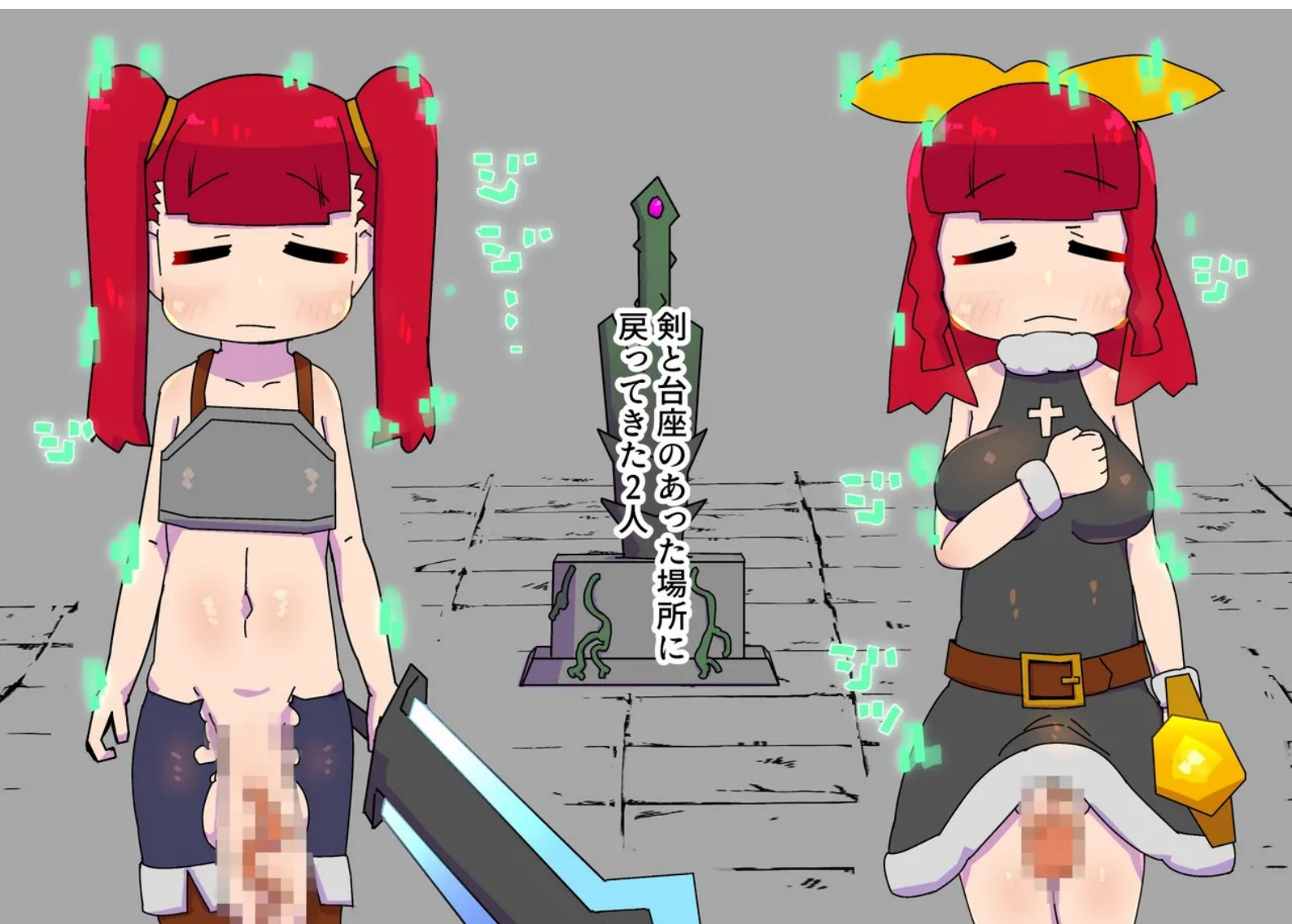
シュウウ

シュウウウ...

ピク

ピク

ピク



剣と台座のあった場所に
戻ってきた2人



「マイ
「えっ、
セーブ地点が町じゃなくて
ダンジョン内になってる……？」

事態の深刻さに気づく



2人は気づいてなかったが
先ほど剣に触れたときに
セーブされていたのだった

……



「エナ
「……」



エナ

「なんかさつきと違って今度は道が変わって無いみたいだからさ別の道にもいってみよーよ」

マイ

「うん……」

昔から不安なときは素直になる妹
2人は先ほど選ばなかった道に進む事にした



うん



回数が減り
慎重に進む
2人

壁や天井には
無数の穴が
開いている

空腰を振り失禁と射精を繰り返す。

自分の尿で足を滑らし

ズルッ

近くにあった岩で強く頭を打ちつけた。



エイ

ゴ

ッ

ハッ

キッ

あ

お

お

カ

カ

ビ

シ



やがて息絶えた。

身体はピクピクとしばらく跳ねていたが、



エナ
[.....]

死が感知され
ロードが始まる



大量の媚毒を
注入されてしまい
正気を失う

姉に気を取られていて
後ろからの触手に
気がつかなかった

「おがぁ
あぁっ」

ドゥ
ドゥ
ドゥ

おっ
おっ
おっ

おっ
おっ
おっ

興奮状態で
正気を失っているマイは

「壁の穴〜♡
ゴツゴツしてて
きもちいら〜♡」

壁の穴に自分の
チンポを突っ込み
へこへこと
腰を振り始めてしまった！

ズポ〜





壁の穴に猿のように
射精しまくっていると



鈍い音がした



「マイ
おっ♡♡♡
へえ♡♡♡」

グワッ
ワッ!

ッ
ッ
ッ

壁の中の仕掛けが作動し
鋭い刃が落ちてきて、
チンポが根元から切り離された

妹は泡を吹いて、その場に倒れる
切断面から精液が漏れた



そのうち
精液も吹き上がらなくなり
やがて息絶えた

「マイ
ロooooo」

転移の光が身を包み
ロードが始まる

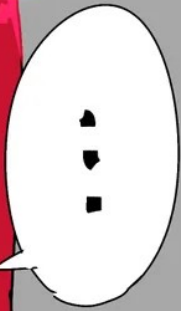


再びセーブ地点の
剣と台座のあった場所に
戻された三人

モゴ



さすがに恥ずかしさが
出てくるのか



お互いに顔を合わせられない

モゴ







エナ
「んちゅっ♡ちゅっ♡んれろお♡」
(惚けた顔かわいい♡すきっすき♡)



マイ
「~~~~♡」
(なんでこんなことに♡
わかんない♡わかんない♡
エッチできればもうどうでもいい♡)



エナ

「ぶはっハア♡ハア♡????♡♡♡♡」
（マイちゃんの唾液♡あつまあ♡♡♡♡
ハチミツか?♡妹はミツバチだった?♡♡♡）

マイ
「んぶあつ♡はっ♡はっ♡はっ♡♡♡」
（お姉ちゃんの舌♡♡♡
よだれで繋がってる♡♡♡）

♡♡♡



エナ
「っ♡んふっ♡ふっ♡んむ♡」
(舌セックスっ♡舌で交尾してるっ♡
チンポが勝手にひくついちゃうっ♡♡
えいえいつえいつ♡舌チンポでイけっ♡♡)

マイ
「んぢゅっ♡んむう♡ぢゅっ♡」
(お姉ちゃんとキスキもちいい♡
舌の付け根まで舐め舐め♡ペロペロ♡
うう...♡肌が触れてるところ
ぜくんぶ♡天国っ♡だいすきっ♡)

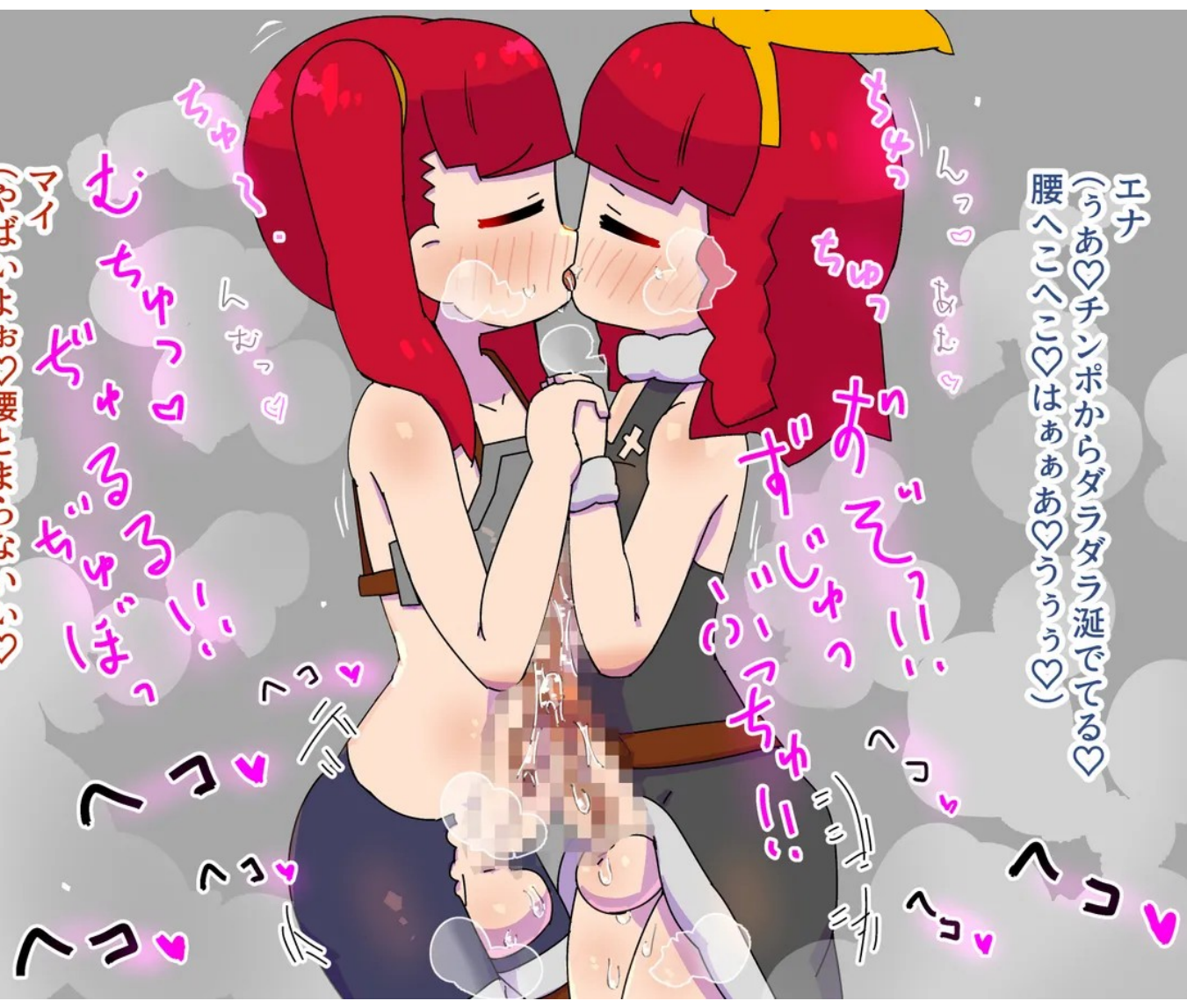


エナ
 (えっ♡おおう♡うまっ♡もっ♡もっ♡
 もっ♡と舌せつくしゅっ♡舌チンポ勃起♡
 私の舌勃起い♡舌コキで射精しちゃう♡
 いきたい♡いきたい♡舌射精♡
 姉妹キスで舌セックス♡♡♡射精♡
 射精♡♡♡しゃせい♡♡♡射精♡♡♡)

マイ
 (ううっ♡口の中がぐっちやぐちや♡
 ぺちよぺちよ♡ぬとぬとのどろどろ♡
 唾液全部舐めとられてる♡
 お姉ちゃんの舌ペロ必死かわいい♡
 オッパイに挟まってる♡
 チンポきもちいいよお♡うう♡すき♡)

エナ
(うあ♡チンポからダラダラ涎でてる♡
腰へ♡♡♡はああ♡ううう♡)

マイ
(やばいよお♡腰とまらないいい♡
姉妹なのにい♡腰振るのとまらないよお♡)



エナはじつとマイの目を見つめ
声に出さず口を動かした

お互いの脳は興奮で
熱暴走を起こしている

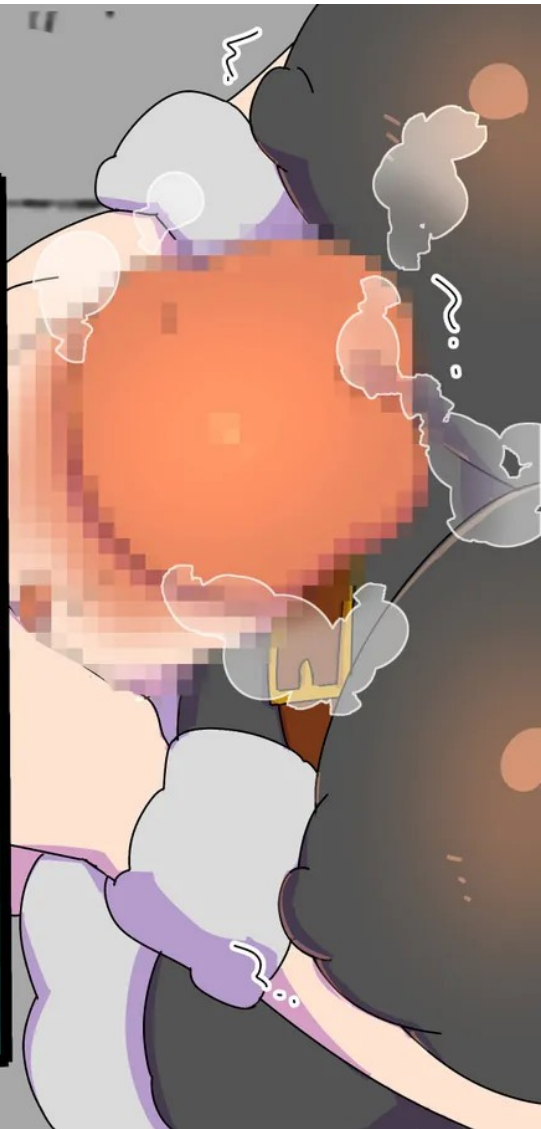
沸騰した脳で
この提案は断れない

この先の快楽を想像し
余計に熱が上がる



マイ
「ね、ねえ……
私のおつきいのおつきい
男の人より大きいって
ほんと……？」

エナ
「んっ♡」





回想



肉や香辛料を煮込んだもの
姉の手料理はともにおいしい

仕事から帰ってきた姉は
そのまま2人分の食事を作る



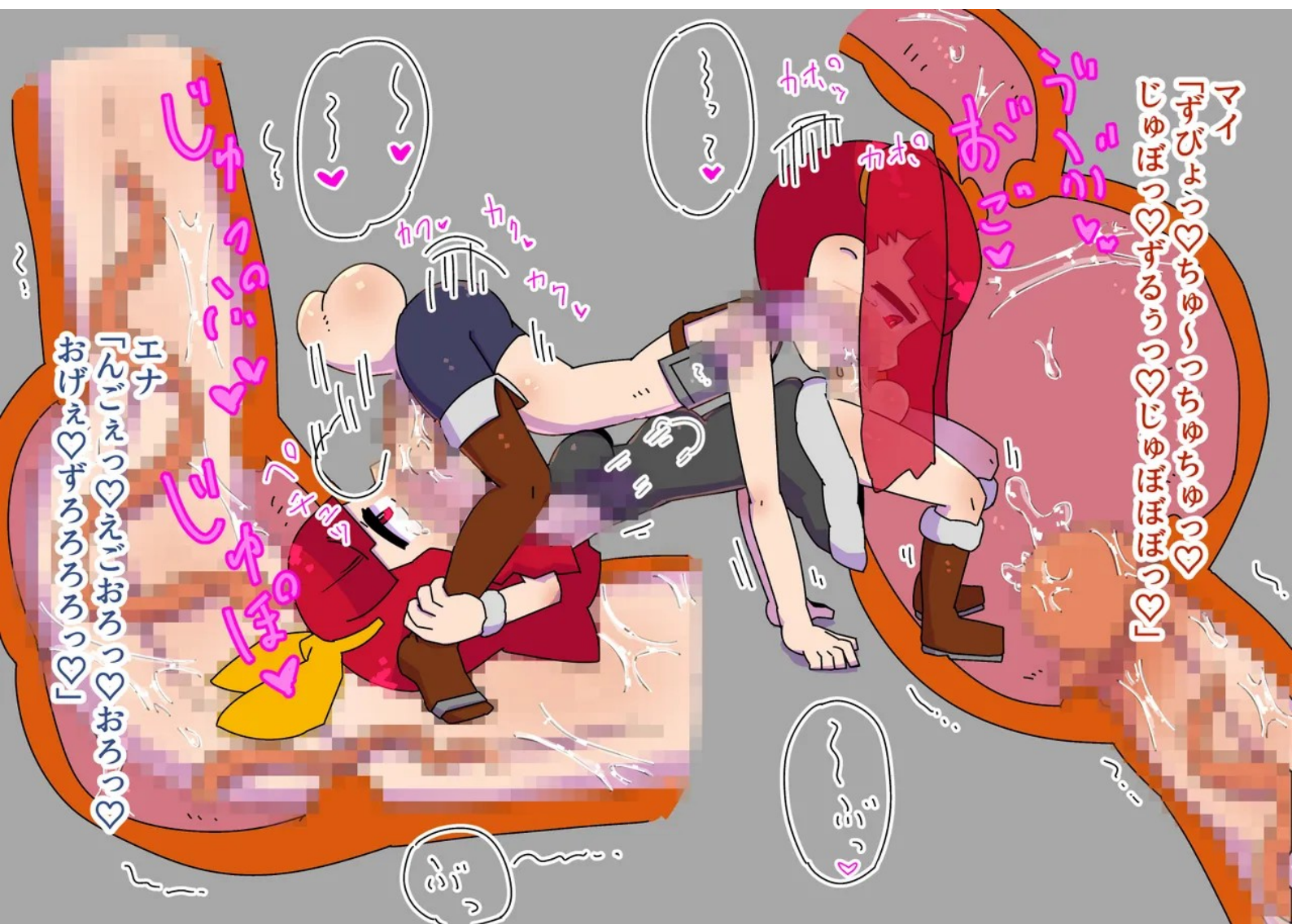
お互いが別々に
生活費を稼いでいても
食事は一緒にとるようにしていた





妹は姉の手料理を
喜んで食べ、
その様子を姉は
嬉しそうに眺める
これが姉妹の日常だった。

うめ
うめ



マイ
「ずびよっ♡ちゅっ♡ちゅちゅっ♡
じゅぼっ♡ずるうっ♡じゅぼほっ♡」

エナ
「んごえっ♡えごおろっ♡おろっ♡
おげえ♡ずろろろっ♡」

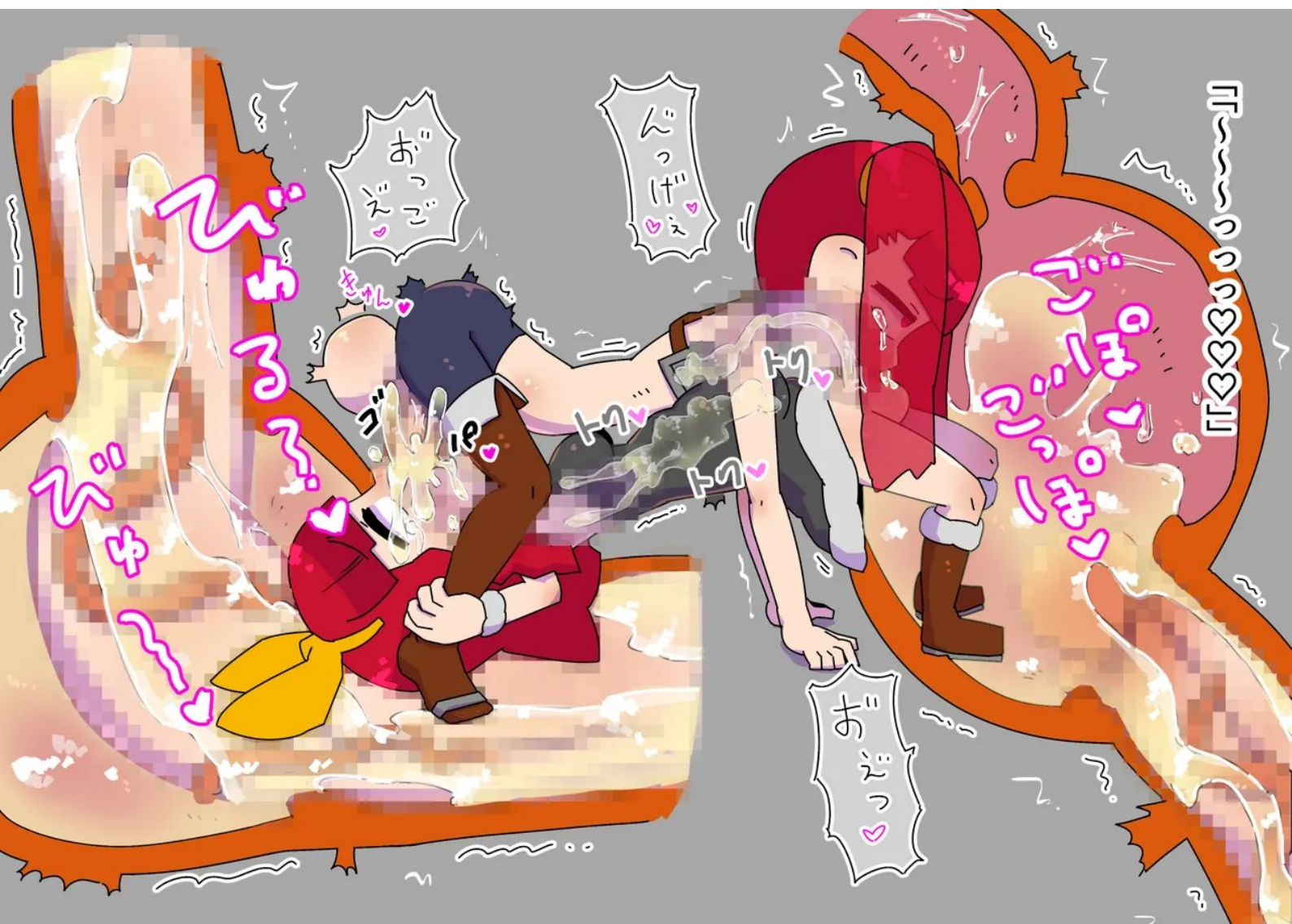
♡♡♡
♡♡♡

♡♡♡
♡♡♡

♡♡♡
♡♡♡

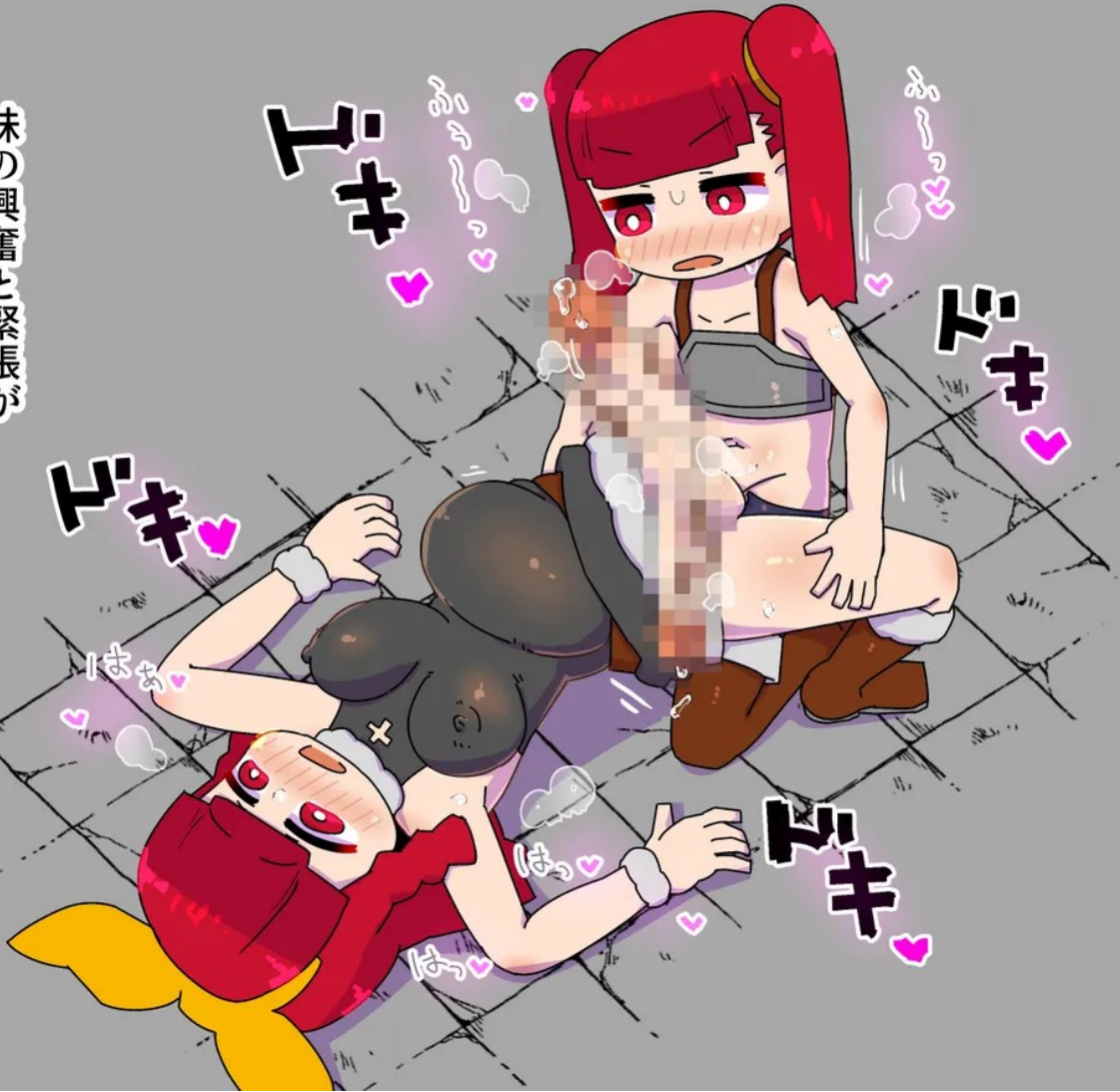
♡♡♡
♡♡♡

♡♡♡
♡♡♡





息が荒くなる2人
もちろん妹にセックスの経験は無い
つまり童貞、初めての挿入

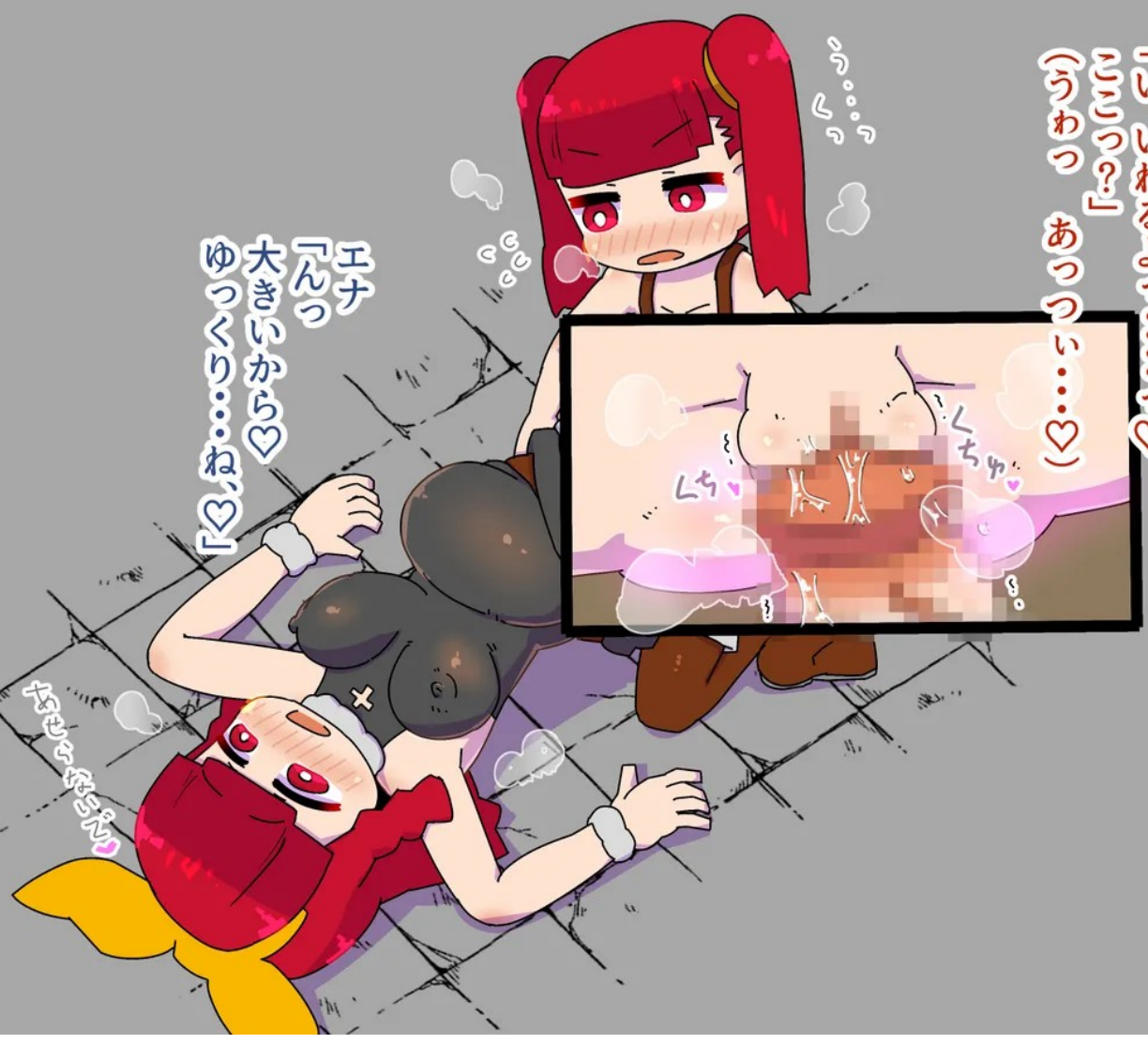


妹の興奮と緊張が
姉にまで伝わり、
お互いの体がこわばる。

マイ
「い、いれるよっ……っ♡
ムムム?」
「うわっ あっつら……っ♡」

エナ
「んっ
大きいから♡
ゆっくり……ね、♡」

んっ
んっ
んっ



マイ
（ふあ〜っ♡お姉ちゃんの中
あったかあ〜っ♡い♡♡♡）

ほっほっ♡
ほっほっ♡
ほっほっ♡

うほっ♡
ほっほっ♡

ドキッ♡
ドキッ♡
ドキッ♡

マイ
（こゝ、腰が勝手に
うごく〜♡♡♡）

あゝ♡
あゝ♡
あゝ♡

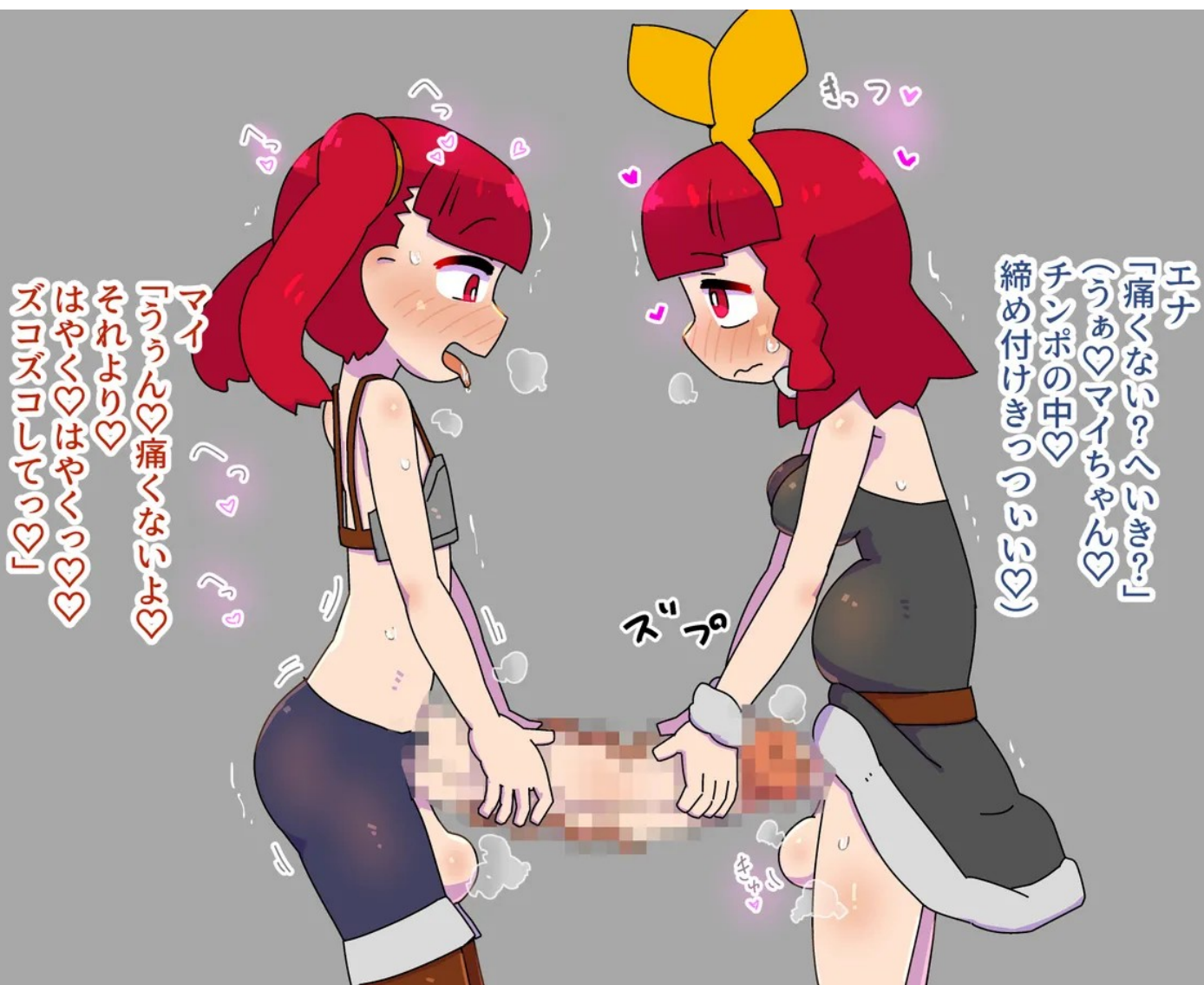




もあ. ♡
だ..し..す..ぎ..
だ..め..
♡

あ..あ..
あ..あ..
♡
♡
♡
♡
♡

とまらない射精
突如生えた
男の器官を
存分に楽しむ二人

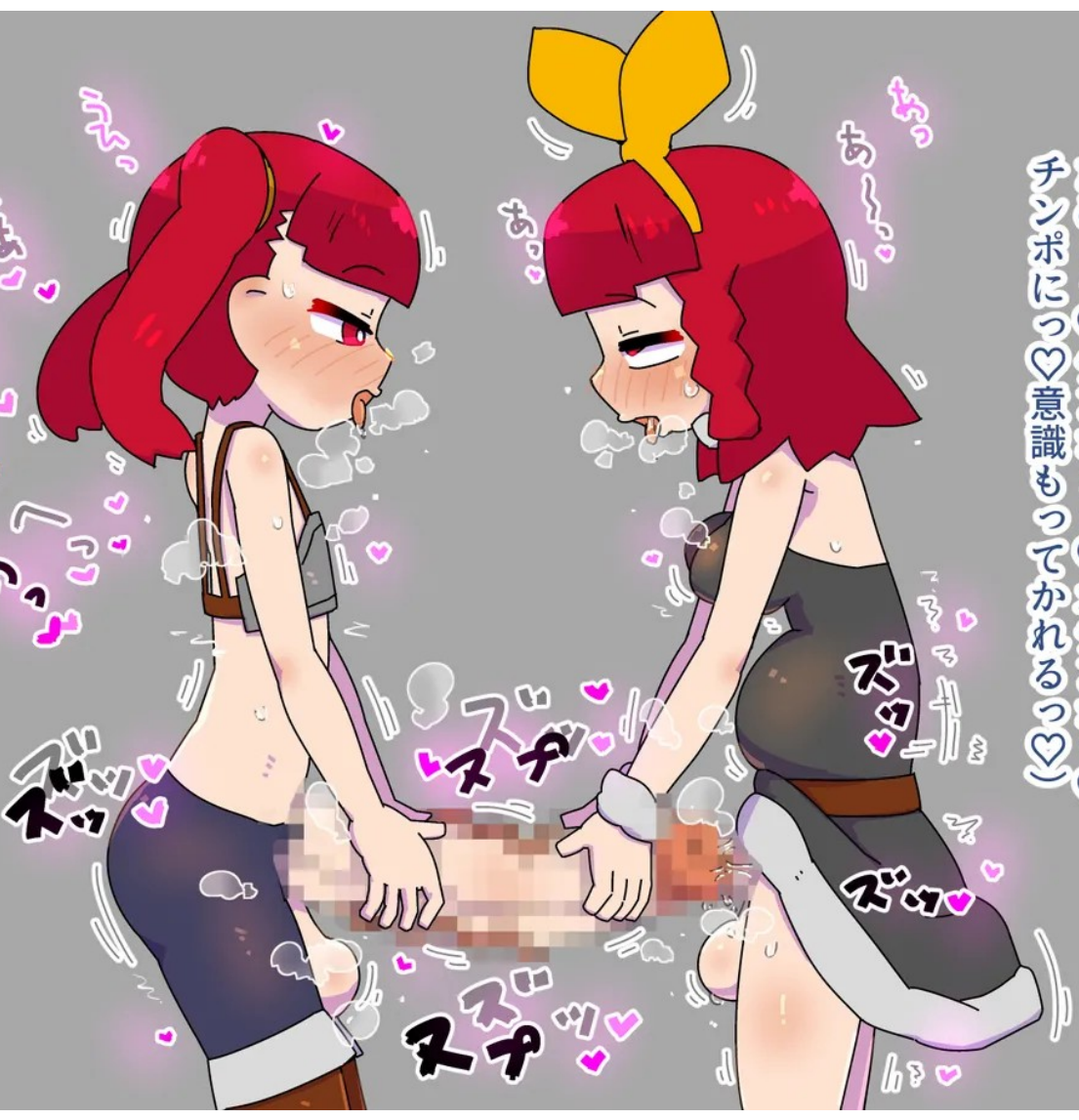


マイ
「ううん♡痛くないよ♡
それより♡
はやく♡はやく♡♡
ズゴズゴしてっ♡」

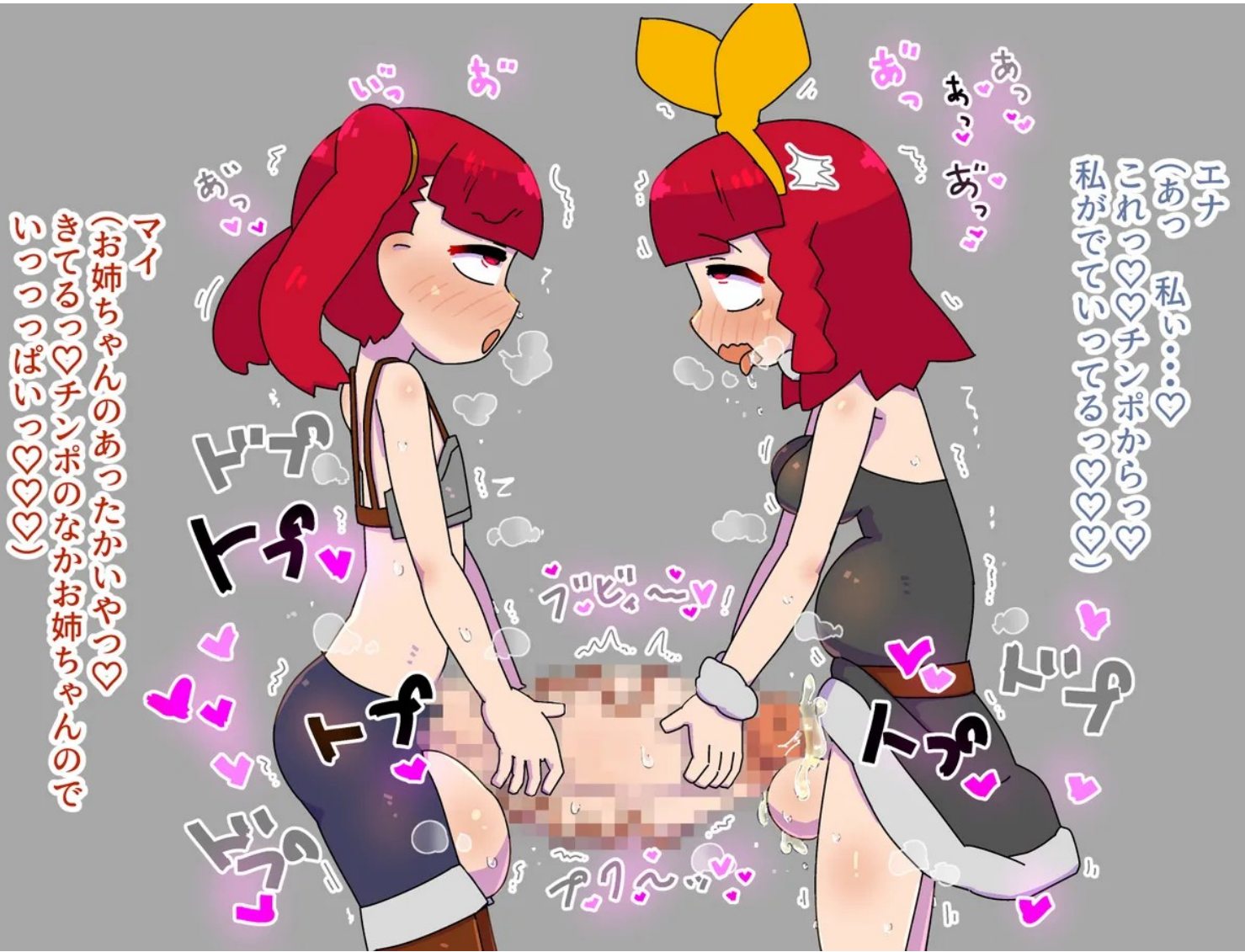
エナ
「痛くない？へいきっ」
（うあ♡マイちゃん♡
チンポの中♡
締め付けきっっいっい♡）

スッポ

エナ
(妹チンポっ♡マンコみたいにいっ♡
だめえっ♡チンポオツ♡オチンポっ♡
チンポにっ♡意識もってかれるっ♡)

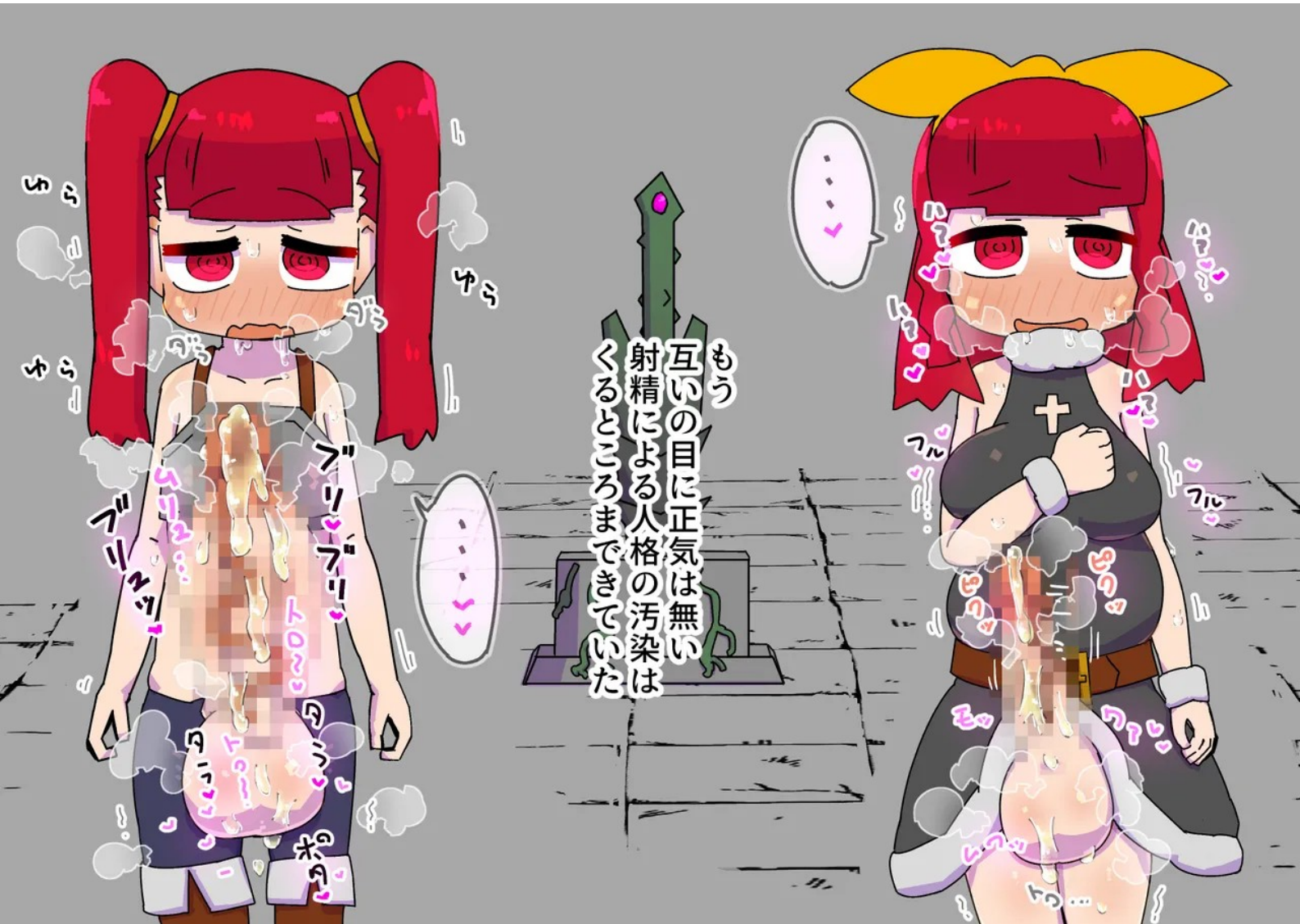


マイ
(えひっ♡チンポでチンポズボズボオツ♡
ズッコズッコ♡中をゴリゴリッてえ♡)



エナ
(あつ 私い...♡
これっ♡チンポからっ♡
私がでていつてるっ♡♡♡)

マイ
(お姉ちゃんのあつたかいやつ♡
きてるっ♡チンポのなかお姉ちゃんので
いつっばいっ♡♡♡)



もう
互いの目に正気は無い
射精による人格の汚染は
くらとこらまでできていた

ゆっくりとお互いの
愛を確かめるように
くちづけ

先ほどとは違う
落ち着いた様子で
2人だけの世界に浸る姉妹



体温が溶け合うほど長く
抱き合っていると...

部屋のどこかから音がした

融合の魔法陣



発動すると
角虫れた物同士
くっついて
混ぜり合う



時間経過で発動する罫、
融合の魔法陣が
2人の足元に展開した

触れた物同士がくっついて混ざり合う
2人は今密着してキスに夢中だ

気づいたときにはもう遅い
妹はこれが
融合の魔法だとわかるが



行動不能に近い状態の
2人には対処が
出来ないものだった。

ぐにぐにと体が混ざり合ってゆく

2つの肉体の
体温が合わさり
熱気を上げる



舌と舌が
顔面と顔面が
皮膚と服が
内臓、血管、脳、神経がくっついて
取り返しのつかない状態になってゆく

混ざりあつた2人の姿は
まるで大きな陰茎であつた

言葉を発することが
無くなつた代わりに
プルプルと体を震わせる
巨大なチンポ



2人は体をぶんぶんと
振り回しながら射精した

アッ
ズ
マッ

ズン
ズン
ズン



台座の剣に精液が付着し、
セーブのアイコンが再びでてしまった





エナ

（セーブが行われたみたいだね。
もうこの体じゃ町に戻っても
退治されるだけ、人間に戻れないなら）

マイ

（ここでモンスターとして
生きよう……？そんな……
そんなのって……）

マイ
（ぶるぶる……、これから……ずっと、
ここで……、ぶるぶる……）

エナ
（そうだよ。ここでずっと、射精しながら）



エナ
（このまま気持ちいい事して過ごそうよ
もつと射精すれば、余計なことも
考えなくなるよ。さあ……）



エナ
ほら、体を揺らして、

他の冒険者にも
この気持ちいいことを
教えてあげましょう

マイ
(でもお...♡)
(でも♡)

エナ
みんなで
くっつけば
もっともっと
気持ちいいはずよ♡

バン
ネ

バン
ネ



(射精と融合による
精神汚染の影響でお互い
おかしくなってる…)

私もこの快楽に溺れたいって
気持ちを抑えられない♡

ここに来る前の私たちの心は
もうほとんど残っていないんだ♡)



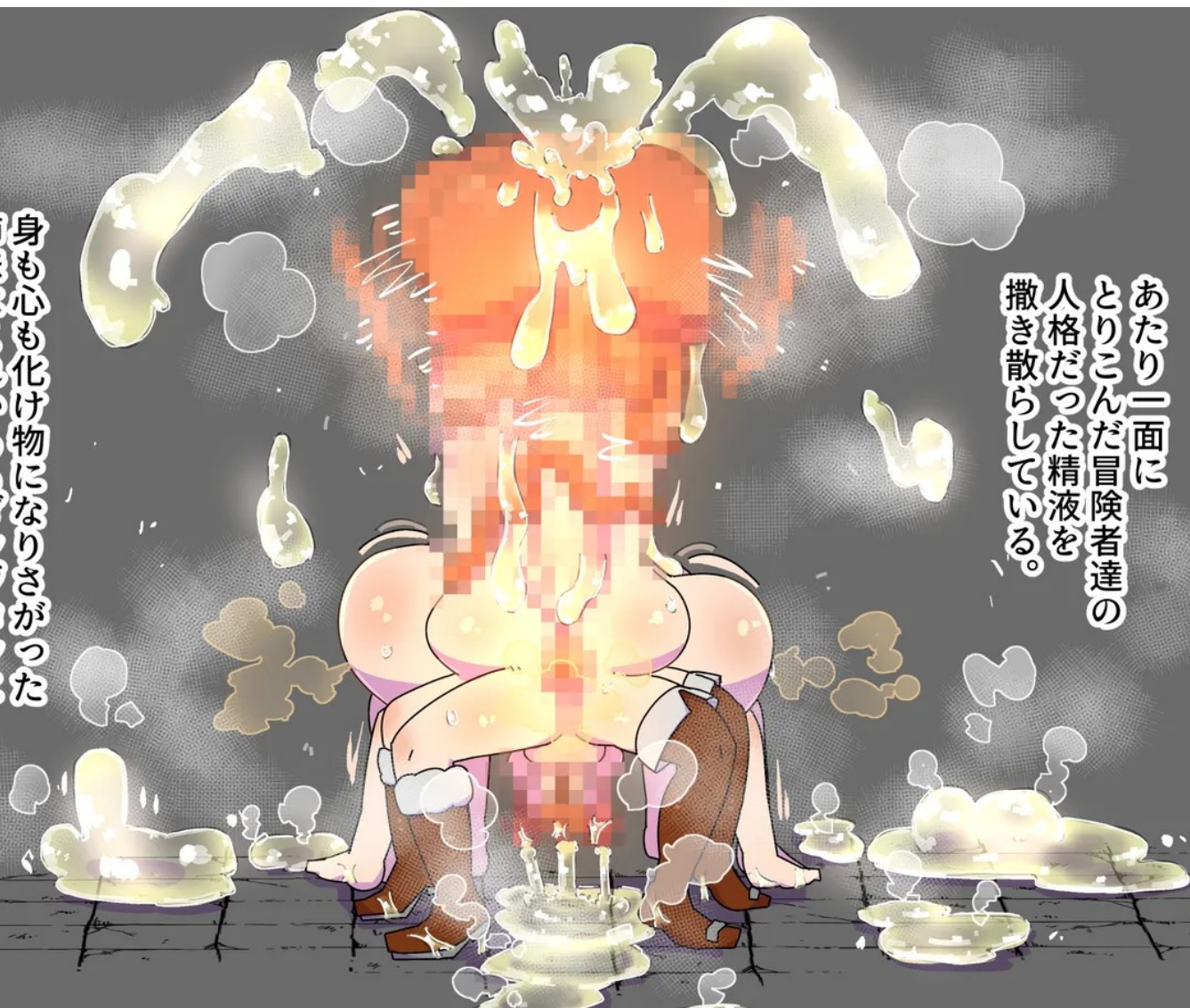
「みんながずつと♡いつしまる♡
もう帰れないけど」

「みんながずつと♡いつしまる♡
もう帰れないけど」

あたり二面に
とりこんだ冒険者達の
人格だった精液を
撒き散らしている。

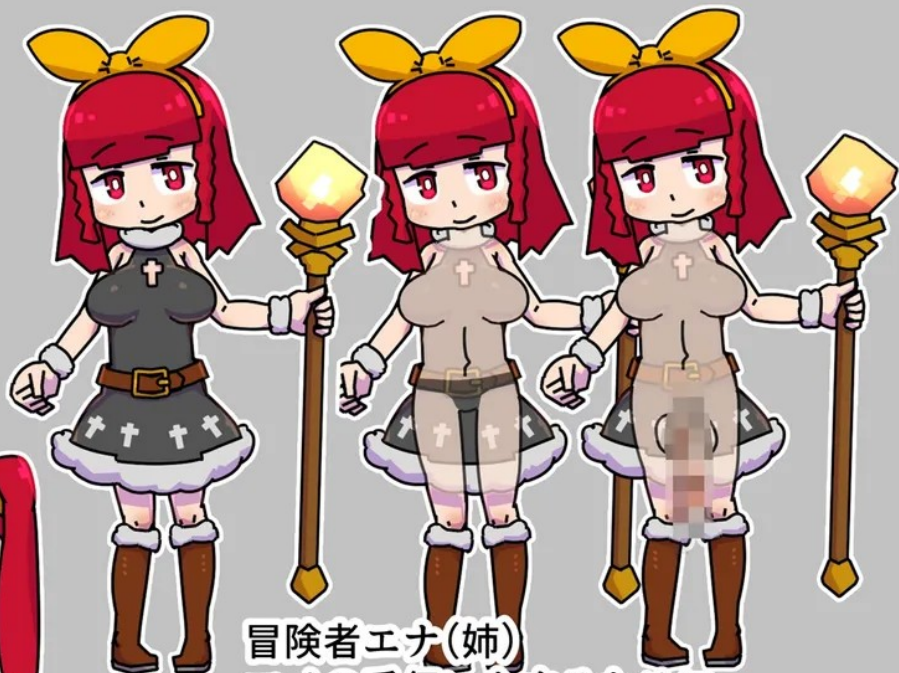
身も心も化け物になりさがった
姉妹はこれからもダンジョンに
入ってきた冒険者を襲うだろう……

END



冒険者マイ(妹)
姉の前ではしっかり者
姉以外とはほとんど
しゃべれず
人見知り、
町で働くのが嫌になり
冒険者となった

性格
・内気
・真面目



冒険者エナ(姉)
マイの手伝いをするために
冒険者になった、それ以前は
夜の酒場などで接客をしていた

性格
・楽天的
・落ち着いてる

融合の魔法陣



ダンジョンにあった 魔方陣

発動すると
角がれた物同士
くっついて
混ざり合う



新種の魔物
カニのようでもあるし
クモにもみえる、すばやい



呪いの剣
触れると
周囲の人間に
男性器を付与
台座からは
抜けない

